

困難な問題を抱える女性への支援事業【福岡県】

個別事業費	8,999 千円
交付金額	4,499 千円

地域の実情と課題

- 生活環境の変化による社会とのつながりの希薄化、女性が多い非正規労働者の不安定な経済状況、DV被害の増加や深刻化など、女性を取り巻く問題は多様化・複合化し、困難や不安が増大している。
- また、困難や不安を抱えながらも自ら支援を求めない女性も多く、様々な専門機関の支援が届きにくい状況となっている。

目的・目標

【目的】

- 様々な困難や不安を抱える女性に対し、NPO等民間団体の知見や能力を活用し、安心して相談できる場所を提供するとともに、就労支援や生活支援等を行う専門機関へつなぐ。
- 特に、心に深刻な問題を抱える女性に対して、公認心理師等がメンタルケアを行う。
- 女性支援に携わるNPO等職員向けの研修会を実施し、女性支援人材育成を行うとともに、女性相談支援員や市町村の女性支援担当者との情報交換の場を提供し、官民の協働・連携を推進。

【目標】

- 街頭・こども食堂等での声掛け 目標24回 → 結果23回
- 公認心理師等による出張相談等の実施 目標120回 → 結果184回
- NPO等職員向け研修会のべ受講人数 目標240人 → 結果220人

事業の特徴

- NPO等とのネットワークを活用したこども食堂・フードバンク等での声かけや相談支援を実施。
- 女性支援に携わるNPO等で構成する「福岡県女性支援団体ネットワーク」を設置し、それぞれの強みを活かした支援を行えるよう、同ネットワーク会員向けに研修会を実施。

連携団体

福岡県女性支援団体ネットワーク(R8.3.31現在、33団体が加入)

事業の効果

- 心に深刻な問題を抱える女性に対する相談を180回以上実施。他の女性支援団体との連携や同行支援を行う等、様々な不安や困難を抱える女性に寄り添った支援を実施することができた。
- 職員向け研修会は、全6回実施し、職員のスキルアップにつなげたほか、NPO同士の情報共有の場としても機能。アンケートでは8割前後の参加者から「とても参考になった」との回答を得た。

今後の課題

- NPO等職員向けに研修会や意見交換会を開催しているが、より団体間の連携を深めるには、座学の研修や意見交換だけでなく、団体相互が理解・交流するような仕掛けが必要。
- ネットワーク加入団体が気軽に研修を受けられ、県内の団体のスキル等の底上げを図れるようにする必要がある。

困難な問題を抱える女性への支援

様々な困難や不安を抱える女性が孤立せず、必要な支援に結びつけられるよう、NPO等民間団体の知見や能力を活用したきめ細かい支援を実施。

①アウトリーチ型相談支援

- ・ こども食堂・フードバンク等での声掛け、電話・メールやSNSによる相談支援、面談、就労支援や生活支援等を行う専門機関へのつなぎ・同行支援等を実施する。
- ・ 公認心理師又は臨床心理士が子ども食堂や大学などに出向いての出張相談、ウェブ個別相談を実施し、心理的なトラウマや精神的な不調を抱えている女性の心のケアを図る。



街頭での声掛けの様子



相談支援の様子

②NPO等職員向け研修会

- ・ 女性支援に携わるNPO等の職員向けの研修会を実施し、女性支援人材育成を行う。